

2024年度 なな一る訪問看護研究助成金プロジェクト

募集要項

1. 目的

なな一る訪問看護研究助成金プロジェクト（以下、本助成とする）は、在宅看護・訪問看護に関する研究を対象とした助成金事業である。本助成は、在宅看護・訪問看護の発展に寄与することを目的とする。また、研究者や訪問看護実践者の交流や共同の機会としても役立てられることを期待する。

2. 応募資格

本助成は、在宅看護・訪問看護に関する研究活動に対して助成する。特に訪問看護の現場実践に役立つ研究を歓迎する。応募条件は以下の通りである。

- ・日本の大学や医療機関、研究機関において、在宅看護・訪問看護に関わる研究者および医療従事者の個人またはグループ
- ・助成決定者は、贈呈式および研究報告会に参加することとする。
- ・助成決定者は、原則として研究内容の概要をプレゼンテーションした動画をなな一る訪問看護デベロップメントセンターのホームページ上で公開するものとする。なお、公開時期は学会発表や論文投稿を優先し、各人と相談して決定する。
- ・過去5年間に当助成を受けた研究代表者は応募できないものとする（共同研究者は除く）。

3. 助成金額と期間

1) 金額

1件 30万円程度まで、総額 300万円

2) 期間

1年間（2024年8月から2025年8月まで）

4. 応募方法

助成希望者は、申請書類を専用のフォームを通して提出する。

添付書類は下記とする。

- ・様式 I：申請者の情報
- ・様式 II：研究計画書
- ・様式 III：予算計画書

5. 応募期間

2024年4月15日（月）から5月17日（金）24時まで

※期間外に応募は受け付けません（前後含め）

7. 助成決定通知と交付予定日

1) 選考結果については、2024年6月中旬ごろまでに通知する。

2) 助成金の交付は、2024年7月下旬月ごろを予定している。原則として、申請者個人名義の銀行口座への振り込みにより交付する。

8. 贈呈式の開催

贈呈式は、2024年7月13日（土）10時より開催する（大阪府内で開催予定、詳細は追って公表する）。遠方などの場合は、オンラインでの参加も可能とする。

9. 研究成果の報告

研究助成対象者は、研究終了後「研究報告書」および「会計報告書」の提出をする。

研究報告書は様式IVを用い、A4用紙2枚程度で作成する。会計報告書は様式Vを用い記載する。報告書の提出締め切りは、2025年12月19日（金）24時までとする。研究報告書に関しては、論文や学位論文として提出および投稿したもので代替してもかまわない（提出時点で未採択のものでも可）。

研究助成対象者は、2026年1月頃に開催する研究報告会で研究結果を発表する。また、研究内容の概要をプレゼンテーションした動画を、ななーる訪問看護デベロップメントセンターのホームページ上で公開するものとする。

また、助成によって行った研究を学術論文等で公表する場合は、投稿先の規定に沿って助成を受け実施したことを記載すること。ただし、当助成の表記は「2024年度ななーる訪問看護研究助成金プロジェクト（英語表記：Nana-r home-visit nursing research grant project）」とする。

10. 助成金の使用用途

研究に関する直接必要な経費を助成する。法および公序良俗に反することには使用しないこととする。その他パソコンの購入など、研究に必要なものであれば特別な制限は設けない。費目は次の一覧（表1：費目表）を参照すること。

表 1：費目表

費目	内容
諸謝金	研究に対する協力や助言に対する謝礼。 ※助成者本人および共同研究者への支給は認められない。 ※受領者には、所得税法に定める確定所得申告の手続きを行うよう指導すること。
調査費	アンケートの集計、解析、文字起こしなどの費用。
会議費	研究に必要な会議に要する経費（飲食代、会場代、備品レンタル代、茶菓子台など）。
旅費交通費	研究のための交通費、宿泊費、日当など。学会へ参加するための交通費や参加費なども含む。 ※旅費計算に当たっては、所属施設・団体の規定に従うこと。
図書費	研究のための文献の購入費用。
消耗品	研究に必要な事務用品や消耗品の費用。
設備費	研究のための機器やソフトなどの費用。
印刷費	資料の印刷、複写費、現像料など。
通信運搬費	クラウドサービス利用料や切手代、送料など。
雑費	各科目に該当しないもの。

○問い合わせ先

ななーる訪問看護デベロップメントセンター

ななーる訪問看護研究助成プロジェクト事務局

〒560-0085

豊中市上新田3丁目6-17-301

E-mail: info@nana-dc.jp